

授業科目名	地域精神看護学臨地実習	担当教員	◎宮本眞巳、中島洋一、 松丸直美
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：臨地実習 45時間

【授業概要】

地域精神保健領域における多職種チームによる地域支援活動の中で、看護職に求められる役割の一端を担うことを通じて、生活自立を目指す精神障害者との間で、援助関係をどのように形成していくかについて理解を深める。

【授業目的・目標】

1. 訪問看護部門の看護師と共に在宅療養中の患者宅に出向き、訪問看護の必要性と、地域支援の有効性について学ぶ。
2. 精神科デイケアにおけるグループ活動に参加することを通じて、リハビリテーション支援の方法とその有効性について学ぶ。
3. 精神科領域における入院による医療と、地域における医療・ケアとを統一的に捉える視点を養う。

【履修条件】

地域精神看護学を履修していること

【授業計画】

- 1日目 病院及び関連施設の見学
- 2日目 訪問看護部門の活動に参加
- 3日目 精神科デイケア部門の活動に参加
- 4日目 精神科デイケア部門の活動に参加
- 5日目 学習のまとめ

【教科書】

指定なし

【参考書】

1. 精神科デイケア学会編集（2016）新・精神科デイケア Q&A，中央法規出版
2. 長谷川直美監修他（2011）精神科デイケア必携マニュアル，金剛出版

【評価方法・評価基準】

実習目標の達成状況による評価 60%、課題レポート 20%、カンファレンスへの参加状況 20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：精神科通所施設実習の体験を踏まえ、精神科デイケアの理念と課題を整理しておく。

事後学習：実習体験に基づき地域ケア・精神科医療全般と精神科デイケアの関連について理解を深める。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習記録及び課題レポートは、評価コメントを付して夏休前に返却する。

【備考】

精神保健看護学臨地実習での学習を深めると共に、地域看護学臨地実習と併せて、看護の統合と実践臨地実習の準備体験となりうることに留意して学習に取り組んで欲しい。